

事務事業評価における総括

部 局 名	企画部	記入責任者	若林 英俊
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>企画部 6 課では、平成 29 年度に「災害応急活動」、「庁内共通事務」、「部内調整事務」を除き、96 事業に取り組みました。結果、S 評価が 60 事業、A 評価が 17 事業、B 評価が 6 事業、C 評価が 5 事業、実績なしが 3 事業、評価算出中の事業が 5 事業という結果になりました。</p> <p>企画部の事業は、庁内及び庁外の関係機関等との調整を図りながら進めて行く事業が多いという特徴があります。そうした事業性質を踏まえ、実施成果として 77 事業で成果があがっており、また 11 事業は今後成果が見込めるものとしています。社会の変化に対応できる行政経営の達成に向けて、取り組みを進められているものと評価しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした事業として、企画経営課の「セカンドライフのプラットフォーム」については、生涯現役応援窓口の周知とともに、マッチングロスの解消に向けた取組を進めます。また、広域事業政策課において、C 評価が 4 事業ありますが、各種の要望活動が想定回数に至らなかったこと等があります。このうち「高速道路料金適正化の促進」については、高速道路料金の無料化が現実的でなくなってきたため、休廃止を検討し、今後は料金の引き下げに対する要望ヘシフトしたいと考えています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>平成 29 年度に取り組んだ事業について、成果があがった及び成果が見込める事業は 88 事業（91.6%）でした。これらの事業については、今後さらなる成果・効果を見込むため、事業実施における様々な見直しを検討しながら、継続して取り組みを進めていきます。併せて、各課それぞれが、施策のねらいや事業目的を改めて振り返り、働きかたの見直しを推進する部局として積極的に事業の効率的・効果的な手法を検討していきます。</p> <p>次期総合計画策定に向けた作業が本格化していくことから、現行の総合計画を振り返って評価し、骨子案を策定します。加えて、行政評価についても研究を重ね、見直しを図っていきます。</p> <p>また、本市の実情に応じた住民サービスをより一層推進するため、将来的な中核市への移行を目指し、移行に向けた課題等の整理、県との調整を行い、（仮称）中核市移行推進計画の策定作業を進めていきます。</p> <p>さらに、情報セキュリティ対策として、事故の要因として人為的なミスによるものが多いことから、引き続きセキュリティ対策の充実を図り、啓発していきます。</p>			